

商品名: PK51  
(C51 V87°ロフェッショナル開発キット)  
価格: ASK

内容物:  
(CA51 + μ Vision3 IDE シミュレータおよびデバッグ、拡張デバイスをサポートするLX51コード・パッキング・リンカ、ISD51+フラッシュ・モニタ対応のイン・システム・デバッグ、RTX51 Tinyリアル・タイム・カーネル、ST μ PSD と インフィニオン XC800対応のULINKドライバ、ADuC83x/84xドライバ)

・1年間期限ライセンス好評発売中(価格:ASK)  
・年間サポート更新も受付中  
・価格は毎月更新されてます。別途お問合せ下さい

商品名: DK251  
(C251 V47°ロフェッショナル開発キット)  
価格: ASK

内容物:  
(CA251 + μ Vision3シミュレータおよびデバッグ)

・1年間期限ライセンス好評発売中(価格:ASK)  
・年間サポート更新も受付中  
・価格は毎月更新されてます。別途お問合せ下さい

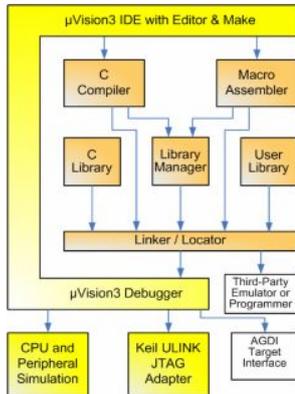


### μ Vision のコンパイル/デバッグまで

- ①: インストールが完了したら、μ Visionを立ち上げます。
- ②: [Project]-[Open Project]を選択し、プロジェクトファイルを指定し、ロードします。
- ③: “ビルドモード”が立ち上がり、プロジェクト・ワークスペース、エディタワークスペース、アウトプットウィンドウが表示されます。
- ④: 操作は「Buildボタン」「Rebuildボタン」「Downloadボタン」「Build optionボックス」で操作を行います。
- ⑤: 下記の手順でビルドコンパイル、リンクします。  
[Project] → [Clean target] で以前のオブジェクト(残っていた場合)を削除します。  
[Project] → [Build target] でビルドします。

- ⑥: 続いてμ Visionのシミュレータ設定を行います。  
メニューバーより、[Project] → [Options for Target ...]を選びます。  
オプション設定のウィンドウがポップアップしますので、[Debug]のタブをクリックします。  
“Use Simulator”のラジオボタンが有効になっていることを確認し[OK]をクリックします。
- ⑦: デバッグモードへの切り替えは、メニューバーより[Debug] → [Start/Stop Debug Session]を選ぶか、[デバッグ]ボタンをクリックします。
- ⑧: デバッグ操作は「Resetボタン」「RUNボタン」「Stopボタン」「Single stepボタン」で行います。
- ⑨: ブレーク設定は、アドレスの他、アクセス(Read/Write)、通過回数、データ・サイズ、ブレーク時のコマンド実行等が指定でき、上図のBreakpoints Windowで管理できます。

<その他、詳しい操作方法についてお気軽に弊社までお問合せ下さい>



### μ Vision IDE (統合環境)



プロジェクトワークスペース、エディタワークスペース、レジスタウィンドウ、メインウィンドウ、アウトプットウィンドウ、コアスタックウィンドウ、メモリウィンドウ

<ビルドモード>      <デバッグモード>

- ・ビルドモード(ソースコード編集用)とデバッグモードがあります。
- ・複数ソースコードはマルチウィンドウかタブ形式で切り替えられます。
- ・その他にも各種ダイアログやウィンドウがあります。

**【PK51/DK251最新評価版コンパイラのダウンロードはこちら】**  
<https://www.sophia-systems.co.jp/ice/arm/keil/index.asp>

※ご希望のバージョンがある場合は<[keil.sales@sophia-systems.co.jp](mailto:keil.sales@sophia-systems.co.jp)>  
までメールでお問合せ下さい

8051系/8251系開発環境: KEIL製品のお問合せ先  
 株式会社ソフィアシステムズ KEILセールスグループ  
 TEL:044-989-7245  
 E-mail:keil.sales@sophia-systems.co.jp



※株式会社ソフィアシステムズは、KEIL製品の国内正規販売代理店です

※ARMはARM社の登録商標。その他、会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。